

会 議 録

| | |
|--------|---|
| 会議名 | 平成29年度 第3回 丸亀市行政評価委員会 |
| 開催日時 | 平成29年7月13日(木) 14:00~18:15 |
| 開催場所 | 丸亀市役所 本館3階特別会議室 |
| 出席者 | <p>出席委員 赤熊一弘、岩永十紀子、岡本恵子、森茂、吉田世津子、佐藤常光、藤川澄子</p> <p>事務局 市長公室長 山田理恵子 (市長公室政策課) 課長 山地幸夫、副課長 富士川貴、担当長 志村芳隆、 主査 宇野大志郎</p> |
| 議 題 | <p>1. 施策評価について</p> <p>2. その他</p> |
| 傍聴者 | 2名 |
| 発言者 | 議事の概要及び発言の要旨 |
| 山地政策課長 | <p>ただ今より第3回丸亀市行政評価委員会を開会します。本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>議事の進行は会長をお願いします。</p> |
| 岡本会長 | <p>議事に入ります前に、本日7名中6名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。(もう1名途中より出席)</p> <p>審議に入る前に、本日の当日配布資料ですが、私自身、評価作業を行っていくうちに、判断基準がぶれているような気がしましたので、35施策のうち、145設けられている成果指標の達成度を、一覽でまとめてみました。目標値に対しての達成、未達成、悪化している状況などが一目瞭然でわかりますので、参考にしてください。</p> <p>それでは、まず「I-1-1 自然環境の保全」です。特にご意見がないようでしたら、採決します。<B4、C3 判定B></p> <p>続きまして、「I-1-2 環境に配慮したまちづくり」です。評価が分かれています。成果指標③公用自転車の活用について、市の取り組み姿勢をどう評価するかという点がポイントになっているかと思います。</p> |
| 佐藤委員 | <p>この施策のなかでは、意識次第で取り組みやすいことだと思いますが、進捗が良くないのでD評価としました。</p> |

| | |
|------|---|
| 岩永委員 | 達成できている成果指標もありますので、全体としてはC評価としました。 |
| 岡本会長 | <p>それでは採決に入ります。＜B 2、C 3、D 2 判定C＞</p> <p>次は、「I-1-3 廃棄物の適正処理と再資源化」です。まず、ゴミのリサイクル率が悪くなり、排出量も多くなっているのに、市民満足度がアップしていることが理解できないというご意見は、同じ感想を持ちました。何をもって市民満足度を測るのかという観点は難しいところです。</p> |
| 岩永委員 | ゴミが出しやすいかそうでないか、ゴミ袋手数料が高いかどうかといったところでしょうか。 |
| 岡本会長 | <p>成果指標④⑤について、目標値に対して基準値よりも悪化しているということは、基本的に評価としてはEになるかと思いますが、市民満足度は上がっているのでDとしました。施策として取り組んでいる事業の方向性が間違っていると感じます。</p> <p>それでは採決します。＜B 2、C 3、D 2 判定C＞</p> <p>次は、「I-1-4 緑のまちづくりの推進」です。まず、公園管理はコミュニティ等に依頼する方向で検討するべきというご意見がありますが、担当課が記載している、高齢化により公園ボランティア団体が2団体解散したという現状と、矛盾するかと思いますがいかがでしょうか。</p> |
| 赤熊委員 | コミュニティは世代交代がうまくいってない面もありますが、活性化の意味でも、事業の一つとして位置付けて取り組む必要もあると思います。 |
| 岡本会長 | 担当課が、市民の手を借りて管理する方針というのであれば、公園ボランティアを育成することから始める必要があります。 |
| 赤熊委員 | 行政に頼りすぎるのも心配で、自分の地域は自分で管理するという意識を高揚させることが大事ですが、地域だけで難しいようであれば行政と協働で取り組むことも考えられます。 |
| 岡本会長 | <p>ボランティア団体を増やしていくためには、育成の視点が不可欠で、コミュニティ等と協働でボランティアを育成していく考え方も重要だと思います。</p> <p>それでは採決します。＜B 2、C 4、D 1 判定C＞</p> <p>次は、「I-2-1 歴史的資源の保存と活用」です。</p> |
| 佐藤委員 | 瀬戸内国際芸術祭のある年度は、本島の文化観光施設の来訪者数は増えていますが、外的要因だけでなく、笠島や咸臨丸、塩飽水軍など魅力的な資源を活かした自力の取組みが必要だと思います。 |

| | |
|--------|--|
| 岡本会長 | <p>大事な視点だと思います。それから、金毘羅街道沿いの景観に対する満足度については、歴史的資源の保存と活用を測る成果指標として難しいというご意見があります。私もそう思いますし、担当課としても同様の意見が出ております。それでは採決します。＜B 5、C 2 判定B＞</p> <p>次は、「I-2-2 文化芸術の振興」です。市民会館の代替施設についてのご意見がありますが、どのような状況ですか。</p> |
| 山地政策課長 | <p>代わりの会議室などは、担当の文化観光課でまとめて、ホームページで公表しています。</p> |
| 岡本会長 | <p>芸術鑑賞教育については、内容の充実について担当課が記載していますが、回数の増加を目標として掲げている以上、成果としてはないものと捉えざるを得ません。</p> |
| 岩永委員 | <p>総合計画に基づくと、目標回数に向けての予算措置が必要だと思います。ただ、芸術鑑賞教育は回数は増えていませんが人数は増えていきますし、この点だけで評価できない面もあります。</p> <p>それから、市民会館については、閉館の際に再建の話に至ってなかった点が問題だと思います。</p> |
| 岡本会長 | <p>それでは、採決します。＜B 4、C 2、D 1 判定B＞</p> <p>次は、「II-1-1 適正な土地利用と良好な住環境の形成」です。この施策では、成果指標③中心市街地の人口がポイントになるかと思いますが、基準値よりも悪化しており、5年間の計画期間中の施策推進の方向性が誤っていたと言わざるを得ません。総合計画の一番の目標として掲げている、人口11万人以上をキープするという点は達成できていますが、中心市街地に限っては下がっています。また、中心市街地は高齢化率も上がっています。ドーナツ化減少も含めて施策の再考が必要と感じます。</p> <p>それでは、採決します。＜B 2、C 4、D 1 判定C＞</p> <p>次は、「II-1-2 公共交通の充実」です。コミュニティバスについては、高齢化時代を迎えるなかで、利用者が増えていくと予想されます。それから、もともと高くない公共交通に対する市民満足度が、基準値よりさらに下がっています。</p> |
| 岩永委員 | <p>利用したい人が増えているから、便数の増加や利便性の向上などの点で、満足度につながらないのかもしれないかもしれません。</p> |
| 佐藤委員 | <p>往復で利用となると、目的地で用を済ました後、帰りの便まで随分待たないといけない場合もあります。また、便利な回数券や1日利用券の告知がバス車</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>内でわかりにくいので、改善が必要かと思えます。</p> |
| 岡本会長 | <p>それでは採決します。＜B 4、C 3 判定B＞</p> <p>次は、「Ⅱ－1－3 道路環境の整備」です。成果指標①②が基準値より下がっています。他になければ採決します。＜B 1、C 6 判定C＞</p> <p>次は、「Ⅱ－1－4 水道水の安定供給」です。水道事業は、数値的にかなり進んでいます。特になければ採決します。＜B 7 判定B＞</p> <p>次は、「Ⅱ－1－5 生活排水処理施設の整備」です。</p> |
| 森副会長 | <p>河川の環境基準とも関わりますので、環境部局と連携した取組みも必要です。</p> |
| 岡本会長 | <p>下水道事業経営戦略では、単年度赤字が続いており、経営努力が必要かと思えます。</p> <p>それでは採決します。＜B 1、C 6 判定C＞</p> <p>次は、「Ⅱ－2－1 農林水産業の振興」です。農業は数値的に概ね達成できていますが、漁業の方は基準値より悪化しています。香川県全般的に漁業対策は落ち込んでいるのかもしれませんが。</p> <p>それでは採決します。＜B 5、C 2 判定B＞</p> <p>次は、「Ⅱ－2－2 商工業の振興」です。</p> |
| 岩永委員 | <p>総合計画には、産業界と大学などの研究機関が連携について掲げられていますが、具体的な取組みが見えてきません。</p> |
| 岡本会長 | <p>調査シート全体を通じて、総合計画に掲げる重点プロジェクトや、施策の展開に対する記載がなく、業務に取り組んだかどうかもわからないものがあるのは、総合計画達成状況の調査シートとして信じ難いです。</p> |
| 岩永委員 | <p>丸亀ブランドの展開はどのような状況でしょうか。</p> |
| 山地政策課長 | <p>丸亀うちわや骨付鳥のほか、飯山の桃、また、東京オリンピックの機会を利用した、うちわの販路開拓など検討されています。</p> |
| 山田市長公室長 | <p>香川銀行の都市圏のショップを活用するなど、民間と連携した物産PRにも取り組んでいます。</p> |
| 岡本会長 | <p>それでは採決します。＜B 5、C 2 判定B＞</p> <p>次は、「Ⅱ－2－3 観光の振興」です。</p> |
| 森副会長 | <p>観光協会の法人化も実現しており、今後の取組みに期待したいです。</p> |

| | |
|------|---|
| 岩永委員 | 丸亀城を中心とした施策の推進という意見と、お城偏重の観光施策を見直すべきという逆の意見があり、担当課が迷うかもしれません。 |
| 岡本会長 | 文化観光課がお城中心の観光施策に取り組んでいることは、担当者からの意見として確認しましたが、お城以外の豊富な観光資源の活用も必要です。 |
| 岩永委員 | うどん県それだけじゃない香川県ではないですが、丸亀市の魅力が丸亀城だけではないことをアピールしてもらいたいですね。 |
| 岡本会長 | それでは、採決します。＜A 2、B 5 判定B＞ 次は、「Ⅱ－2－4 雇用の促進」です。成果指標③小売業・卸売業事業所数、④工業事業所数は基準値よりも下がっています。市内全体の商工業が衰退しているイメージを持ちました。 |
| 森副会長 | 有効求人倍率が増加することと、雇用の増加は関係ないので、成果指標としては良くないと思います。 |
| 岡本会長 | 働く場所がない丸亀の人口が増えるわけがないので、雇用対策は力を入れるべき部分だと思います。それでは採決します。＜B 3、C 4 判定C＞ 次は、「Ⅲ－1－1 災害に強い都市基盤の整備」です。特になければ採決します。＜A 2、B 4、C 1 判定B＞ 次は、「Ⅲ－1－2 危機管理体制の強化」です。災害はいつくるかわかりませんので、昼間若い人が全くいない時の対応なども想定した避難訓練も検討して欲しいと思います。それでは、採決します。＜B 5、C 2 判定B＞ 次は、「Ⅲ－1－3 消防・救急体制の充実」です。救急救命士の数は増えていますね。 |
| 藤川委員 | 住宅用火災警報器設置については、消防職員が直接訪問するなど啓発に努めていると思います。 |
| 岡本会長 | ただ、数値的には成果が上がっていないので、施策の方向性としては誤っていたのではないかと思います。 それでは、採決します。＜C 7 判定C＞ 次は、「Ⅲ－1－4 交通安全・防犯・消費者保護対策の充実」です。緊急警報装置（防犯カメラ）についてのご意見がありますが、詳細はどのようなものですか。 |
| 佐藤委員 | 私の地元のコミュニティセンターにもあるのですが、設置した県警本部から、耐用年数の関係もあり、順次撤去していく旨の話がありました。犯罪の抑止に |

| | |
|---------|--|
| | もなっているのです、政策目標の「災害や犯罪から人や地域を守るまち」を目指す意味で、今後の更新など検討が必要かと思います。 |
| 岡本会長 | 現在、丸亀市の予算を投入して行っていることではなく、今後の取組みの要望ということですね。市町が設置している例はあるのでしょうか。 |
| 山地政策課長 | 公共施設の全てではないですが、改築などの機会を利用して、設備として設置しているところはあります。 |
| 山田市長公室長 | 公共施設でない箇所への設置となると、検討が必要です。 |
| 岡本会長 | 地元から県警への直接の要望で設置されたようなケースの扱いですね。県警が設置しているものの更新を市が検討していくということを、委員会の意見として掲載するかどうか、いかがでしょうか。 |
| 岩永委員 | 今後、そうした観点からの施策、評価も検討されたいというのはどうでしょうか。 |
| 岡本会長 | <p>県の予算で設置されたものですが、地域の防犯の役割を果たしてきた防犯カメラについて、今後の対応をどうするかは検討が必要と思われます。では、採決します。＜B 5、C 2 判定B＞</p> <p>次は、「Ⅲ－2－1 高齢者福祉の充実」です。</p> |
| 佐藤委員 | 老人クラブ加入率低下の要因としては、一部の人しか所属しておらず、活動が見えない、啓発が不足している点もあると思います。 |
| 岩永委員 | 老人クラブの方は、会員を増やしたいと思っているのですが、PRの仕方がわからないのかもしれないかもしれません。 |
| 岡本会長 | 老人クラブの加入者数も含めて、成果指標③④の数値も、基準値より下がっています。 |
| 岩永委員 | 在宅福祉サービスは、介護保険認定を受けていない人のデイサービスとホームヘルプサービスということですが、介護認定の方に移行している人が増えているにしても、高齢者全体としては増えているはずなので、大きく減少している理由がわかりません。介護保険で十分にケアできていると考えるのか、認定されなかった人が使いづらいサービスなのでしょうか。 |

| | |
|-------------|---|
| 山田市長公室 長 | 在宅福祉サービスは、市内に住所を有する介護保険の対象とならない一人暮らしの高齢者が対象となります。 |
| 岡本会長 | 介護保険を使うまでのサービスとして重要だと思います。老老介護などを考えても、独居に限っているのが、使いづらい点かもしれません。介護保険を使わない人が増える方が、介護保険制度にはよいのではないのでしょうか。 |
| 岩永委員 | 特にデイサービスは、利用することで、要介護になりにくくなる点もあると思います。ホームヘルプサービスも、買物を補助してもらえることで、より良い栄養状態をキープすることができます。 |
| 岡本会長 | ちょっとしたサポートがとても助かる部分があります。では、採決します。 < C 7 判定 C > 次に、「Ⅲ－２－２ 障がい者福祉の充実」です。特になければ、採決します。 < B 3、C 4 判定 C > 次に、「Ⅲ－２－３ 暮らしを支える福祉の充実」です。香川県は糖尿病が多い傾向にあり、それが原因で透析治療など医療費が高くなっている点があります。糖尿病にポイントを絞った施策には取り組めないのでしょうか。 |
| 山田市長公室 長 | 糖尿病に特化した数値等を把握できて、成果指標として適当であれば可能だと思います。 |
| 山地政策課長 | 病気になられた方ではなく、健康であることの数値を増やすのは、成果指標として相応しいと思います。 |
| 岡本会長 | それでは評価します。< B 3、C 4 判定 C > 次は、「Ⅲ－２－４ 地域保健・医療の充実」です。特にならなければ、採決します。< C 7 判定 C > 次は、「Ⅳ－１－１ 人権尊重社会の実現」です。特になければ採決します。 < B 7 判定 B > 次は、「Ⅳ－１－２ 男女共同参画社会の実現」です。 |
| 佐藤委員 | 人口割合から考えると、女性管理職や審議会委員の男女比は、本来半々であるべきだと思います。 |
| 岩永委員 | 職員の男女比の現状はどうなっていますか。 |
| 山地政策課長 | 消防は男性、保育所は女性が多い傾向ですが、全体としておおむね半々くらいになっています。 |

| | |
|------|--|
| 岡本会長 | <p>男性の育児休業取得率が低いことは、市役所の男女共同参画意識が低いとも取れます。それでは採決します。＜B 2、C 5 判定C＞</p> <p>次は、「IV-2-1 子育て支援の充実」です。子育て支援は、丸亀市においてかなり進んでいる分野です。</p> |
| 岩永委員 | <p>青い鳥教室は、成果指標の待機児童0人というだけでなく、質の向上を検討して欲しいと思います。</p> |
| 岡本会長 | <p>家庭教育講座の参加者増のため、有名な指導者や専門の講師を選んではどうご意見ですが、費用面、費用をかけるだけの効果の点で難しいと感じます。それでは採決します。＜A 1、B 6 判定B＞</p> <p>次は、「IV-2-2 学校教育の充実」です。</p> |
| 吉田委員 | <p>成果指標が5つあり、数値目標を達成しているものと、目標からかけ離れたものが混ざっており、難しい部分がありますね。</p> |
| 岩永委員 | <p>学力調査については、基準値より下がっています。</p> |
| 岡本会長 | <p>この施策の基本方針では、学力の向上がポイントですが、その成果が出ていないということは、丸亀の教育の方向性が誤っていたのではないかと思います。担当課の意見に、学力の向上には家庭学習も課題とありますが、家庭教育を充実させるため、単に学習の手引を作成したというのではなく、成果として現れる対策を教育委員会が講じたのかどうか疑問です。</p> |
| 吉田委員 | <p>成果指標の見直しで、学力調査ではなく、学校でのアンケートの中の「学校が楽しいか」「授業が楽しいか」に変えたいとの記載がありますが、学力の充実をこの観点で測るつもりなのか、どう考えてもすり替えでしかないと感じます。</p> |
| 岡本会長 | <p>丸亀市の子どもたちの学力を向上させるという目標に向かって努力していると思えません。施設の耐震化は100%達成していますが、学力の向上という最も大事な部分の成果がありません。学力向上に向けて、学力調査の成果指標を無くすというのにはあり得ないと思います。</p> |
| 吉田委員 | <p>アンケートを学校づくりに活かすことに関して、否定する人はいないと思いますが、成果指標③の見直しを考える場合、別の方向性で、学力に関する指標を検討すべきところだと思います。</p> |
| 岩永委員 | <p>この部分だけだと、評価Eになるかと思いますが、耐震化など達成状況が良い部分もあります。</p> |

| | |
|--------|--|
| 岡本会長 | <p>それでは採決します。＜C 5、D 2 評価C＞</p> <p>次は、「IV-3-1 生涯学習活動の推進」です。まず、ホームページで生涯学習に関する内容が検索しにくいというご意見ですが、V-1-1の施策におけるホームページ全体の問題ともいえます。また、図書館の入館者数を館ごとに集計して成果指標とするのは、私も良いと思います。飯山の図書館では、子供連れが多く、児童書の貸出が多いと聞いています。年齢層別に分析するというご意見がありますが、館の特色を把握できるような集計方法も検討してみてください。</p> |
| 岩永委員 | <p>生涯学習推進員の配置については、地域のニーズや生涯学習のノウハウがなければ、参加者を集められないと思います。市がある程度、手助けをする必要があると思います。</p> <p>それから、市民講座の開催数が減っている点については、ペアーレなど市主催以外でも、いろんな講座がありますので、そこにある程度まかせようとしているのか、また、価格と内容が見合っているのか、開催数が減った代わりに一つ一つが充実しているのか、読み取ることができませんでした。</p> |
| 吉田委員 | <p>講座の回数を増やしたものの、参加者が少なくなってきたので、絞ってきたのかという印象を持ちました。講座の開催数から参加人数へという成果指標の見直しは妥当だと思います。</p> |
| 岩永委員 | <p>平成 26 年度は 40 講座で 879 人、平成 28 年度は 21 講座 498 人と、参加人数はやはり減っています。</p> |
| 岡本会長 | <p>講座回数を減らして、参加人数が増えているのならまだしもですね。</p> <p>それでは採決します。＜C 5、D 2 判定C＞</p> <p>次は、「IV-3-2 スポーツ・レクリエーション活動の振興」です。スポーツ施設の多様な活用については、講演会や就職面接会などで現在も利用されています。</p> |
| 赤熊委員 | <p>講座室として使用するなど、これからも有効活用して欲しいです。</p> |
| 岡本会長 | <p>それでは採決します。＜B 5、C 2 判定B＞</p> <p>次は、「V-1-1 情報の発信と地域情報化の推進」です。市職員の情報セキュリティ研修の各部署の対応はどうなっていますか。</p> |
| 山地政策課長 | <p>パソコンのインターネットによるEラーニングが多くなっています。</p> |
| 岡本会長 | <p>成果指標の推移をみても、もう少しがんばって欲しいです。では、採決しま</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>す。＜B 4、C 3 判定B＞</p> <p>次は、「V-1-2 市民参画と協働の推進」です。</p> |
| 吉田委員 | <p>成果指標と、担当課の事業の関係がわかりにくいので、評価シートの作り方を工夫して欲しいです。選挙管理委員会事務局など、数値化できる成果指標と関係のない担当課の事業も入ってきますが、せめて市民満足度に対する見解があれば評価の判断になります。</p> |
| 岡本会長 | <p>政策課での対応が必要な部分です。また、担当課の自己評価には主観が入りますので、客観的な結果を明確にするために、今回の評価作業の過程で、成果指標の一覧表をまとめました。145の成果指標のうち、達成できたのが47.6%で半分もいっておらず、逆に基準値よりも悪化したものが21.4%と多いです。後期基本計画の結果の現実を、本来は、総合計画担当の政策課として把握しておくべき内容だと思います。それでは評価します。＜B 7 判定B＞</p> <p>次は、「V-1-3 地域コミュニティの活性化」です。</p> |
| 森副会長 | <p>データを見ると、自治会の加入率は県内で一番低いようです。</p> |
| 岡本会長 | <p>総合計画の施策の展開にも、加入促進に努める旨の記載がありますが、現状は減少傾向にあります。それでは採決します。＜B 5、C 2 判定B＞</p> <p>次は、「V-1-4 広域連携・交流活動の充実」です。中学生の海外交流について、英語圏の国を検討してはというご意見があります。</p> |
| 岩永委員 | <p>参加したい人が少ない理由の一つだと思います。生徒が自分の学んだ英語を使ってみようと思うでしょうし、選択肢を増やしてもいいのではないかと思います。</p> |
| 吉田委員 | <p>外国から丸亀市に来ているのは、中国語圏、スペイン語圏からの方が多く、身近な人たちは英語圏の人は少ないと思います。英語圏であれば、学校や民間でも交流の機会はたくさんありますので、市が多文化共生の理念を持って、市費を使って国際交流を推進するのであれば、身近な人たちのことを重視するのも妥当かと思います。</p> |
| 岡本会長 | <p>両論とも大切な視点だと思います。それから、定住自立圏内の人的・物的相互利用は既に実施しているのではないのでしょうか。</p> |
| 森副会長 | <p>さらに推進すべき必要があります。</p> |
| 岡本会長 | <p>それでは採決します。＜B 7 判定B＞</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>次は、「V-2-1 財政運営の効率化」です。運営は悪くはないですが、財政状況は良くないと思います。市が事務局をしている団体への補助金は良くないというご意見があります。補助金見直し基準に抵触しますので、事務局は財務課と協力して現状を確認し適切な措置を行ってください。</p> |
| 赤熊委員 | <p>合同公売会は、今年初めて実施して、盛況であったと聞いております。</p> |
| 岡本会長 | <p>効果的な成果が上がるものは取り入れて欲しいと思います。それでは採決します。＜A1、B6 判定B＞</p> <p>次は、「V-2-2 行政運営の最適化」です。</p> |
| 吉田委員 | <p>窓口サービスの市民満足度は、数値が古く判断しにくいです。窓口サービスの充実を図り、市民満足度の高い市役所をつくるという基本方針であれば、2、3年に一度はアンケートを実施し、検証すべきと思います。</p> |
| 岡本会長 | <p>綾歌市民総合センターは独自で窓口アンケートを行っています。この成果指標を総括する担当課を明確にして取り組んで欲しいと思います。それでは評価します。＜B6、C1 評価B＞</p> <p>それでは、以上で評価を終わります。本日の審議をまとめたうえで、次回の会議に報告書案を提示していただければと思います。皆様お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p> |